

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月9日

上場会社名 株式会社 セック

上場取引所 大

コード番号 3741 URL <http://www.sec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋山 逸志

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 中川 美和子

TEL 03-5491-4770

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,683	16.1	200	75.8	209	33.8	125	41.1
24年3月期第2四半期	1,450	14.1	114	—	156	1,460.7	88	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	48.89	—
24年3月期第2四半期	34.65	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
25年3月期第2四半期	4,417		3,683		83.4
24年3月期	4,373		3,648		83.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,683百万円 24年3月期 3,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,320	7.6	400	31.5	450	3.4	270	11.1	105.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	2,560,000 株	24年3月期	2,560,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	255 株	24年3月期	255 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	2,559,745 株	24年3月期2Q	2,559,745 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国情報サービス業の業況は、経済産業省「特定サービス産業動態統計」によると、平成24年4月の月別売上高は前年同月比で減少しましたが、5月より4ヶ月連続で増加となっており、IT需要は全体的には回復傾向にあると推察されます。当社事業分野では、オープンプラットフォームを中心に商談は増加傾向になりましたが、競争入札やコンペが定常化し、受注の見通しが立てにくい状況が続きました。

こうした傾向の中、当社は、重点テーマであります「変化先取りに注力し技術提案力で顧客基盤のさらなる強化を図る」を実践し増収増益となりました。

ビジネスフィールド（以下、ビジネスフィールドをBFと省略）別には、モバイルネットワークBFは、移動体通信事業者向けのオープンプラットフォームに関連する商談は堅調でしたが、基幹ネットワーク関連の技術アプリケーションの大型案件が終了し、売上高は184百万円（前年同期比11.4%減）となりました。ワイヤレスBFは、携帯メーカー向けのAndroid搭載スマートフォンのエンベデッドソフトウェアは減少傾向にありますが、オープンプラットフォーム化による新たなサービスを提供するアプリケーションの開発が増加し、売上高は723百万円（同3.5%増）となりました。インターネットBFは、非接触型ICのエンベデッドソフトウェアが堅調を維持し、民間の設備投資の技術アプリケーションが回復したことから、売上高は305百万円（同33.2%増）となりました。社会基盤システムBFは、防衛など官公庁系の技術アプリケーションが回復し、売上高は164百万円（同59.3%増）となりました。宇宙先端システムBFは、宇宙関連の地上系の技術アプリケーションが回復傾向になり、売上高は159百万円（同32.4%増）となりました。また、ソリューションビジネスは、地上デジタル放送用組込みソフトウェア（製品名：airCube）の販売が堅調で、売上高は146百万円（同61.8%増）となりました。

この結果、全社売上高に占める割合では、インターネットBF、社会基盤システムBF、宇宙先端システムBF及びソリューションが増加し、その他のBFが低下しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高1,683百万円（前年同期比16.1%増）、営業利益200百万円（同75.8%増）、経常利益209百万円（同33.8%増）、四半期純利益125百万円（同41.1%増）となりました。

ビジネスフィールド（BF）別売上高

ビジネスフィールド	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
モバイルネットワーク	208,009	14.4	184,309	10.9
ワイヤレス	698,716	48.2	723,166	42.9
インターネット	229,712	15.8	305,995	18.2
社会基盤システム	103,206	7.1	164,442	9.8
宇宙先端システム	120,426	8.3	159,460	9.5
ソリューション	90,292	6.2	146,099	8.7
計	1,450,364	100.0	1,683,473	100.0

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

ビジネスフィールド（BF）別受注状況

ビジネスフィールド	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
モバイルネットワーク	220,049	151.2	163,547	200.7
ワイヤレス	687,845	90.2	317,349	154.0
インターネット	249,506	101.0	125,936	91.7
社会基盤システム	198,157	130.2	155,203	131.1
宇宙先端システム	210,308	183.2	112,321	153.3
ソリューション	220,270	133.2	140,284	86.0
計	1,786,139	112.5	1,014,641	130.1

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は、前事業年度末に比べ43百万円増加し、4,417百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加372百万円、受取手形及び売掛金の減少141百万円などによる流動資産の増加358百万円、長期預金の減少200百万円などによる固定資産の減少314百万円によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ8百万円増加し、733百万円となりました。これは、流動負債の増加2百万円、固定負債の増加6百万円によるものであります。

純資産は、四半期純利益による増加、配当金支払いによる減少などの結果、前事業年度末に比べ34百万円増加し、3,683百万円となりました。自己資本比率は前事業年度末の83.4%から変動しませんでした。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比べ372百万円増加して、四半期末残高は2,369百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は296百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益204百万円及び売上債権の減少240百万円による増加、法人税等の支払額181百万円による減少によるものであります。前年同期と比較して179百万円の収入減となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果得られた資金は153百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入200百万円、無形固定資産の取得による支出34百万円、有形固定資産の取得による支出16百万円によるものであります。前年同期は78百万円の支出でした。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果支出した資金は76百万円となりました。これは、配当金の支払い76百万円によるものであります。前年同期と比較して25百万円の支出減となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年10月22日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,996,458	2,369,172
受取手形及び売掛金	1,019,954	878,301
有価証券	—	100,000
その他	154,462	181,760
流動資産合計	3,170,875	3,529,234
固定資産		
有形固定資産	62,767	71,429
無形固定資産	164,154	146,419
投資その他の資産		
長期預金	500,000	300,000
前払年金費用	13,956	13,249
その他	461,846	357,027
投資その他の資産合計	975,802	670,277
固定資産合計	1,202,724	888,126
資産合計	4,373,600	4,417,361
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,654	38,617
短期借入金	36,000	36,000
未払法人税等	186,686	118,823
賞与引当金	211,000	216,000
その他	187,980	262,539
流動負債合計	669,320	671,979
固定負債		
役員退職慰労引当金	45,459	51,084
資産除去債務	10,153	10,687
固定負債合計	55,612	61,771
負債合計	724,933	733,751
純資産の部		
株主資本		
資本金	477,300	477,300
資本剰余金	587,341	587,341
利益剰余金	2,596,201	2,644,554
自己株式	△293	△293
株主資本合計	3,660,549	3,708,902
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,881	△25,292
評価・換算差額等合計	△11,881	△25,292
純資産合計	3,648,667	3,683,610
負債純資産合計	4,373,600	4,417,361

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	1,450,364	1,683,473
売上原価	1,044,428	1,222,286
売上総利益	405,935	461,186
販売費及び一般管理費	291,928	260,722
営業利益	114,007	200,463
営業外収益		
受取利息	4,384	4,005
受取配当金	375	451
補助金収入	35,142	1,991
受取出向料	3,212	3,350
その他	2,210	2,515
営業外収益合計	45,325	12,314
営業外費用		
支払利息	401	404
為替差損	1,800	1,104
不動産賃貸費用	740	745
解約違約金	—	1,205
営業外費用合計	2,942	3,459
経常利益	156,390	209,318
特別損失		
固定資産除却損	—	209
投資有価証券評価損	3,407	—
事務所移転費用	—	4,883
特別損失合計	3,407	5,093
税引前四半期純利益	152,983	204,224
法人税、住民税及び事業税	105,911	114,934
法人税等調整額	△41,613	△35,855
法人税等合計	64,298	79,079
四半期純利益	88,684	125,145

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	152,983	204,224
減価償却費	31,426	60,408
固定資産除却損	—	209
投資有価証券評価損益 (△は益)	3,407	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	36,000	5,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,625	5,625
受取利息及び受取配当金	△4,759	△4,457
支払利息	401	404
売上債権の増減額 (△は増加)	318,193	240,897
仕入債務の増減額 (△は減少)	△15,849	△9,037
未払金の増減額 (△は減少)	7,472	△5,827
未払消費税等の増減額 (△は減少)	14,852	△17,431
その他	△58,660	△5,781
小計	491,092	474,235
利息及び配当金の受取額	5,132	4,450
利息の支払額	△404	△409
法人税等の支払額	△19,622	△181,911
営業活動によるキャッシュ・フロー	476,197	296,366
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	200,000	200,000
定期預金の預入による支出	△200,000	—
有形固定資産の取得による支出	△2,173	△16,759
無形固定資産の取得による支出	△73,418	△34,891
投資有価証券の取得による支出	△3,172	△2,856
差入保証金の回収による収入	—	8,369
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,763	153,862
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	150,000	150,000
短期借入金の返済による支出	△150,000	△150,000
配当金の支払額	△101,938	△76,447
財務活動によるキャッシュ・フロー	△101,938	△76,447
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,819	△1,067
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	293,675	372,713
現金及び現金同等物の期首残高	1,653,262	1,996,458
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,946,938	2,369,172

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。